



実を結ぶ教会

I DMC (弟子づくりセミナー) @シンガポールに参加して

=会場=
シンガポールE X P O





内から外へ

心をイエス様の弟子としてふさわしく作りあげていく4つの鍵

1. 内なる衝動をあがなう

人生において私たちが突き動かすものについて探求する



内から外へ

心をイエス様の弟子としてふさわしく作りあげていく4つの鍵

1. 内なる衝動をあがなう
2. 内なる良心を再構築する

神の前に、敏感な良心の必要性を
探求する



内から外へ

心をイエス様の弟子としてふさわしく作りあげていく4つの鍵

1. 内なる衝動をあがなう
2. 内なる良心を再構築する
3. 内なる確信を再固定する
神の言葉に、錨のように固定する
べき 中心的な信仰を探求する



内から外へ

心をイエス様の弟子としてふさわしく作りあげていく4つの鍵

1. 内なる衝動をあがなう
2. 内なる良心を再構築する
3. 内なる確信を再固定する
4. 内なるコンパスを再調整する
人生における 私たちの導きを探求する



内から外へ

心をイエス様の弟子としてふさわしく作りあげていく4つの鍵

1. 内なる衝動をあがなう
2. 内なる良心を再構築する
3. 内なる確信を再固定する
4. 内なるコンパスを再調整する

「必ず結果は外に表れる」

しっかり観光もしました
@シンガポール





実を結ぶ教会

「伝道は存在に始まり、関係で進み、教会で実を結ぶ。」



「伝道は 存在に始まり、

- Aパターン
家族、友人に
誘われて 教会に来る



クリスチャンとして
そこにいる、
ことの素晴らしさ





「伝道は 存在に始まり、

- Bパターン
完全に一人で
教会に来る



間接的な
クリスチャン
(キリスト教)
の存在





「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、

● Aパターン

★積極的で、意欲的な関係づくり

→教会に誘いやすい

→教会への違和感を乗り越えられる



「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、

■ イエス様は関係づくりの天才

ルカによる福音書 15：1－2

「徴税人や罪人が皆、話を聞こうとしてイエスに近寄って来た。

すると、ファリサイ派の人々や律法学者たちは、『この人は罪人たちを迎えて、食事まで一緒にしている』と不平を言いだした。



「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、

■パウロの関係づくりの心得

コリントの信徒への手紙 9：20－23

「弱い人に対しては、弱い人のようになり
ました。弱い人を得るためです。すべての
人に対してすべてのものになりました。
何とかして何人かでも救うためです。
福音のためなら、わたしはどんなことでも
します。」



「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、

● Aパターン

★積極的で、意欲的な関係づくり

→教会に誘いやすい

→教会への違和感に乗り越えられる

★伝道は一発勝負ではない

→ダメなときは、種まきの時期だと思う



「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、

● Bパターン

★クリスチャンとの関係づくりは
教会で始まる！

→話しかける、知り合う、トラクトを
渡す、親しくなる、教会の他の活動
に誘ってみる、自分の証しをする

→カッコ悪くていい

→教会学校は、関係づくりがすべて



実を結ぶ教会



「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、
教会で実を結ぶ」

●すべての求道者は、キリストのからだなる教会に導かれる必要がある

→教会に来られた方が、救われ、受洗し、
聖餐を受け、聖書を学び、弟子となる



り、
び」

●すべての求道者は、キリストのからだなる教会に導かれる必要がある

→教会に来られた方が、救われ、受洗し、
聖餐を受け、聖書を学び、弟子となる

⇒ 教会の使命



り、
び」

●すべての求道者は、キリストのからだなる教会に導かれる必要がある

→教会に来られた方が、救われ、受洗し、聖餐を受け、聖書を学び、弟子となる

⇒ 実を結ぶ教会

“安心してとどまれる教会”



安心してとどまれる教会とは？

① 喜びがあふれる教会

→ 熱すぎても、冷たすぎてもダメ。
バランスが大切。



安心してとどまれる教会とは？

② 愛があふれる教会

ヨハネ13:25

「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」



安心してとどまれる教会とは？

③ 希望があふれる教会

ローマ 5:2

「このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。」



「伝道は
存在に始まり、
関係で進み、
教会で実を結ぶ」

喜びがあふれる
愛があふれる
希望があふれる

実を結ぶ教会へ！





主はぶどうの木

主はぶどうの木 私は枝です

いつも離れずに

主はぶどうの木 私は枝です

豊かな実を結ぶ



みことばにとどまり
愛に生きるなら
この世は知るでしょう
主の救いと癒し



主はぶどうの木 私は枝です

豊かな実を結ぶ

～寛政節●シンガポール報告～

9/2

IDMC (弟子づくりセミナー)
に参加して

8月30日から3日間、シンガポールのエキスポ(幕張メッセのようなコンベンションセンター)で行われた、IDMC(弟子づくりセミナー)に出席してきました。この大会は、広島に過去2回来てくださったエドモンド・チャン先生によって行われているもので、今年で12回目だそうです。今年はアジアを中心に30の国から約7,000人の参加があり、チャン先生による7回のメッセージと、「ワークショップ」と呼ばれる信徒の方々による証が2回ありました。

チャン先生のメッセージは一広島で聞いた時もそうでしたが、非常にオーソドックス、つまり聖書に根差した分かり易いものでした。しかしその中には必ず、私たちが見落と

しがちで“ハッ”とするような指摘があり、最後には心の奥に“グサッ”とくるような鋭い訴えが来るのです。すべてのメッセージをお伝えすることはできませんが、チャン先生が強調されたポイントを紹介します。

今回のメインテーマは「内から外へ」、つまり、信仰の住処である心をイエス様の弟子としてふさわしく作り上げていくなれば、自ずと主の働きに用いられるようになる、というものでした。ダビデは、外見だけでは他の兄弟に劣っていましたが、主はその心を見て選ばれました。ヨセフは何度も試練にあい、ついにエジプトの宰相まで上り詰めましたが、主への良心は変わることはありませんでした。一方、サムソンは聖霊によって無双の力を与えられていましたが、女性に対する弱さを克服できず、最後は命と引き換えにペリシテと戦わなければなりませんでした。聖霊に満たされていても霊的に貧しいことがある実例です。ソロモンも

主に愛された王でしたが、晩年外国から贈り物として与えられた大勢の妻やそばめたちに心を奪われ、偶像礼拝に陥りました。彼は心の羅針盤を正しく保つことができなかったのです。

ではどうすれば「内」を作り上げ、ぶれずに主に向かい続けることができるのでしょうか。「主よ、あなたの道をお教えてください。わたしはあなたのまことの中を歩みます。」(詩編86:11)という願いを持ち続けることです。イエス様の弟子として、イエス様御自身がそうであったように、どこまでも御言葉に学び、御言葉に従い続けるのです。

日本の教会は弱っていますが、信じている神様は同じだし、語られている真理も同じです。

あきらめずに主に従ってゆけば、必ず結果は「外」に表れる、と確信した3日間でした。

